

# 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 平成28年度第2回美里町政策推進・評価委員会
- 2 開催日時 平成28年7月26日(金)午前9時00分から午前10時07分まで
- 3 開催場所 宮城大学大和キャンパス 401会議室
- 4 会議に出席した者
  - (1) 委員  
徳永幸之会長 高力美由紀委員 大塚真理子委員 佐々木秀之委員
  - (2) 事務局  
企画財政課 課長 佐々木義則 課長補佐 小野英樹 係長 尾形賢太
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別  
議題
  - (1) 地方創生先行型交付金活用事業の評価について
    - ・個別評価結果について
    - ・中間答申(案)について
  - (2) 重点実施施策等の政策評価について
  - (3) 次回の会議開催について
  - (4) その他

会議の公開・非公開の別  
公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の人数  
0人
- 8 会議資料  
別紙のとおり

## 9 会議の概要

### (1) 地方創生先行型交付金活用事業の評価について

- ・個別評価結果について

地方創生先行型交付金活用事業について、各事業担当の委員から報告いただき、その内容について協議した。

- ・中間答申(案)について

中間答申(案)について協議し、原案のとおりとすることとした。

### (2) 重点実施施策等の政策評価について

評価対象施策、関連施策について説明し、今後の個別会議の開催方法等について確認した。

### (3) 次回の会議開催について

次回全体会日程

平成28年9月30日(金)午前10時から開催することとした。

### (4) その他

第1回の会議録の内容を確認し、徳永会長に署名をいただくことを確認した。

### (5) 意見の詳細

別紙のとおり

【午前9時00分 開会】

事務局 (佐々木課長)	<p>本日は御多忙のところ、御参会いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日、司会を務めさせていただきます美里町企画財政課長の佐々木でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局 (佐々木課長)	<p>それでは、ただ今より、平成28年度第2回美里町政策推進・評価委員会を開会いたします。</p> <p>開会にあたり徳永幸之会長から御挨拶を頂戴いたします。</p>
徳永会長	<p>～挨拶～</p>
事務局 (佐々木課長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、協議に入ります前に、事務局より第1回の委員会から本日までの経過、地方創生先行型交付金活用事業の評価に係る個別会議の開催状況等について御報告いたします。</p>
事務局(尾形係長)	<p>個別会議の開催状況について御報告いたします。</p> <p>佐々木先生が御担当されている「美里町定住促進奨励事業」の評価に係る個別会議につきましては7月1日(金)に美里町内を視察いただく形で開催しております。</p> <p>高力先生が御担当されている「農産物産地形成事業」の評価に係る個別会議につきましては、7月14日(木)に宮城大学大和キャンパス校内で開催しております。</p> <p>以上です。</p>
事務局 (佐々木課長)	<p>それでは協議に入ります。</p> <p>徳永会長、議事の進行をお願いいたします。</p>
徳永会長	<p>委員皆様よろしくお願ひします。</p> <p>まず初めに、「地方創生先行型交付金を活用した事業の評価について」です。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局(尾形係長)	<p>【資料1に基づき説明】</p>
徳永会長	<p>ただ今事務局から説明がありました。先行型交付金を活用した4つの事業について、各事業担当の委員から評価いただいておりますが、本日はその評価について協議いただきたいと思います。</p> <p>まず初めに、「美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業」の評価について、委員皆様の御意見ををお願いします。</p> <p>こちらにつきましては、私が担当でございまして、総合計画・総合戦略策定時にも携わっております。計画策定時にも指摘がございましたが、現状と課題、施策の展開、関連事業が箇条書きで書かれていますが、それぞれの関係が非常に読みづらいということがございましたので、それを一旦、表にするということをさせていただきました。ただ、全施策についてそのような整理がされているかという、若干疑問な点があ</p>

	<p>りましたので、それをしっかり整理していただき認識したうえで実行していただくというのが、実際の施策遂行においては有用になってくるものと考えております。そういったところを職員、関係者、住民にその関連を十分に認識してもらうというところを書かせていただいております。</p>
徳永会長	<p>それでは、まず各委員からそれぞれの評価について御説明をしていただきたいと思います。佐々木委員お願いします。</p>
佐々木委員	<p>私は「美里町定住促進奨励事業」について担当させていただきました。この事業は2,500万円の予算で規模も大きいものになっております。この事業にはKPIが2つ設定されておりまして、その1つである「転入者の増」については、大幅に目標値を下回る結果となっております。なぜこのような結果になったのかという部分を中心に検討させていただきました。</p> <p>「事業の評価」では「総合戦略のKPI達成に有効であった」に印を付けさせていただき、その理由、課題を挙げさせていただきました。</p> <p>まず、「定住促進補助」として転入してくる方に資金の助成をする訳ですが、その成果として一定の移住者を確保できているということについて記載させていただいております。その中で、子育て世帯や若者の移住を促進しているという件につきましては、移住者が38人ということですが、当初の狙いであった首都圏からの移住というよりは、周辺地域からの転入が多いというのが現状です。</p> <p>「定住空き家再生補助」につきましては、私自身、美里町の現状が分からなかったもので、直接現地を見させていただきましたが、空き家自体は一杯あるのですが、それに対しての空き家再生補助の実績はゼロであり、それについて担当課からヒアリングを行っております。実績がゼロであったことについて、その理由について記載させていただきました。この事業に対する問い合わせ自体は数多くあったようですが、結果に結びついていないことから、物件の見せ方に問題があったのではないかと考えました。空き家が寂れたままの状況では、なかなか借りるところに結びつかないであろう考えました。そこで、現代的なデザイン性、リノベーション、近隣市町村との観光連携を踏まえ、「住みやすい町」として提案したほうが効果的ではないかということで、引き続き事業を継続するというので、提案させていただきました。以上です。</p>
徳永会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、大塚委員お願いいたします。</p>
大塚委員	<p>私は「美里町不妊治療費助成事業」を担当いたしました。タイトルからも分かるように潜在化している課題に対して助成するという事業となっております。県の助成があり、更に町が加算して助成するという中身となっております。不妊治療費助成事業申請相談件数をKPIとしており、その目標値40件に対し、平成27年度の実績は14件であり、助成に至った件数は4件となっております。そのうち1件が妊娠に</p>

	<p>結びついております。目標値に対し実績が低かったという自己評価であります。プライベート性の高い事業であり、役所に相談すること自体が難しいことなのではないかと考えました。また、美里町は小さい町ですので、身近な窓口での相談に対して抵抗感もあることを考えると、14件の相談件数は決して少なくないと考えております。さらに4件が助成につながり、そのうち1件が妊娠に至ったことは評価に値すると考えましたので、このように書かせていただきました。プライベート性が高いということが課題でありますので、相談場所を役場の健康福祉課だけと限るのではなく、産婦人科等関連するところでも相談できる体制も必要ではないかと考えました。ただ、町内に産婦人科がないということで、近隣市町の産婦人科等でも相談できる新たなシステム等についても検討が必要ではないかということで書かせていただいております。また、健康福祉課だけではなく、医療費助成担当部署との連携についても提案させていただきました。</p>
徳永会長	<p>ありがとうございました。 次に、高力委員お願いします。</p>
高力委員	<p>私は「農産物産地形成事業」について担当させていただいております。従来の米、麦といった作物から、新しい作物、特に野菜を中心に導入・規模拡大を目指すものであります。「B to C」ではなく「B to B」向けの作物を増やしていこうという取組であり、約300万円の事業費で取り組まれています。KPIについては、新規作物の取組面積を設定し、目標値5ヘクタールに対して実績は6.48ヘクタールであり、想定を上回る実績を出されています。</p> <p>具体的な事業として、新たな作物に取り組む農業者に対する研修会の実施ということで、特に「B to B」を意識した研修会を実施しております。また、新たな作物に取り組む際に必要となる土壌改良や資材費等の初期経費の補助を実施されております。</p> <p>評価といたしましては、戦略的に強い作物に取り組む端緒、初めの取組として評価しております。農業者に対する研修を行ったことにより、農業者の新規作物に取り組む意欲につながっております。また、新規作物4品目に取り組んでいますが、コスト計算もしっかりとされており、経営の実績というものが可視化されています。農業はどんぶり勘定が多い産業分野でもありまして、経営指標がしっかりと分かるということから、経営の「見える化」が促進される第一歩ということで、この点も評価いたしました。業務用の作物には、収量・品質の安定が重要な要素でありますので、そのためには一定の作付面積が必要になります。青ネギ、玉ねぎ、馬鈴薯については何とかかなりそうだという感触がありましたので、今後はそれらの作付農地の集積等が必要になると考えます。収益性を見極めるためのPL表が作成されている点と、経営数値が把握されることによって、競争力があり収益性が高く産地形成に有意義な作物の見極めができた点について評価いたしました。</p>

徳永会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>4つの事業について、各委員の御意見について説明いただきましたが、私の担当である「美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業」についてはK P Iの指標がなかったのですが、他の3事業についてはそれぞれK P Iが設定してあり、事業によっては、目標値に対して実績が大幅に下回っているものもあります。そのような事業であっても、「外部有識者による事業の評価」欄の「事業の評価」で「総合戦略のK P I達成に有効であった」を選択している場合について、その整合性についてはどのような考え方になるのでしょうか。</p>
事務局 (佐々木課長)	<p>「美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業」につきましては、今後5年間の計画策定ということで、これ自体にK P Iの設定は馴染まないということで設定しておりません。それ以外の事業につきましては、補助金申請時にK P Iを設定しております。実績値が目標値を下回り、目標を達成していない事業もありますが、その事業が事業目的について有効であったのかという視点での評価で問題はないと考えております。</p>
大塚委員	<p>その点について私も迷いました。私が担当した事業について、相談件数40件の目標に対して実績が14件であり、「目標を大きく下回る」と書いているので、「有効とは言えない。」となるのが普通のストーリーなのですが、現状として子どもが欲しい方々に対して高額な不妊治療費を助成することは、今後も継続していくことが大切であります。周知方法についても健康福祉課のホームページに掲載していましたが、二人目の子供を希望している方々に対しては、子育て施策担当課のホームページにも情報を載せる必要があると考えました。健康福祉課に相談した件数のみを実績とするのではなく、関係部署に相談した件数も合わせて実績とするべきではないかと思えます。</p>
高力委員	<p>私は単純に総合戦略のK P I達成にこの事業が適しているかを評価させていただきました。K P Iを達成していても、この事業が本当に役立っているのかという視点で評価しました。</p>
徳永会長	<p>K P Iを達成したかどうかではなく、K P Iに対してその事業が有効であったかどうかの評価になります。K P I達成とは別の視点での評価ということになりますが、第三者がこの評価を見たときに、違和感を覚える可能性もありますので、評価の書き方にフォローがあったほうが良いと思います。</p>
佐々木委員	<p>私の担当した事業は、事業費も大きかったので、どのように評価したら良いのか迷いました。施策としては有効であります。評価の中にどうしてK P Iがこの数字になったのかという推測も記入しておりますが、総合戦略のK P I達成に有効であったかどうかの判断は正直迷いました。</p>
事務局 (佐々木課)	<p>今回評価いただいた事業につきましては、先行型事業ということで、補正予算事業で対応することになったこともありまして、K P I設定については、どのレベルで指</p>

長)	<p>標を設定したらよいのか迷いながら設定したという経緯もありますので、このKPIが本当に適切なのかという部分は確かにありまして、反省すべき点であると認識しております。</p> <p>今回の事業評価については、KPI達成に有効であったか、有効ではなかったかの選択になっておりますので、事業の評価には単純にKPIを達成したかどうかを記入いただきたいと思います。短期的なKPIとしては達成してはおりませんが、総合戦略としては5年間継続する事業であり、今後総合戦略を進めるうえで有効であったかどうかという視点で評価いただいておりますので、その内容は最終的なコメントとして記述いただければと思います。</p>
徳永会長	<p>総合戦略・総合計画のKPIを確認したところ、今回の事業と一致していませんね。これは単独のKPIということですか。</p>
事務局（小野 課長 補佐）	<p>施策レベルのKPI、事業レベルのKPIという考え方がありまして、本来はそれらを関連付けすべきであったと考えますが、施策のKPIとイコールにはなっておりません。各委員からお話しいただいたとおり、先行型事業としてKPIを設定し、有識者の意見をいただくという形をとっておりますが、事業取組の方向付けとしては、改善点はありますが、事業としては良いのではないかと評価をいただいたものと考えております。その反面、事業化する前段での情報が十分ではなく、例えば不妊治療の目標値について、なぜ40件としたかといった部分は、詳細な裏付けがないところがございます。KPIの設定値が有効だったのか、客観性や妥当性があったのかという確認をしていただき、答申書の文言にKPI設定の妥当性について意見を付すことも一つの方法だと考えます。先行型事業のKPIと総合戦略のKPIが一致していないという点をご指摘しております。先ほど課長が申し上げましたとおり、今後の町の戦略として必要な事業と認識しておりまして、今後も単独事業として継続していきますので、今後は施策として評価いただく際に、その施策の中の事業として出てくると思いますので、継続的な視点で評価いただくというのも一つの方法かと考えております。</p>
徳永会長	<p>確認ですが、各事業のKPIは先行型交付金を申請するためのKPIであり、独立したKPIですが、「外部有識者による評価」欄には、「総合戦略のKPI」と書いてありますが、この点についてはどうでしょうか。</p>
事務局（小野 課長 補佐）	<p>こちらは先行型補助金に限定したものであります。国への報告書様式では、総合戦略のKPIに対して有効であったかどうかと、外部有識者の意見の二つの項目を記載するようになっております。その報告書のレイアウトを踏まえ、町としてこの評価書の様式を作成したところです。</p>
徳永会長	<p>今回の事業のKPI達成に向けて、方向性は間違っていないけれども、結果として数値は達成できていないわけですので、それを達成するためにこのようなことを考えたほうが良いといった評価、あるいはKPI設定に問題がなかったのかどうかと</p>

	<p>いった視点でコメントを加えていただければ良いと思います。</p>
大塚委員	<p>不妊治療相談件数40件という数字は、健康福祉課窓口で職員が相談を受ける件数として設定した数字であることが分かりましたが、そうなるターゲット数の把握だけではなく、対象となる方が役所の窓口で相談に来るのかどうかという視点で考えると、医療機関で相談を受け、町での助成につなげるというシステム構築が効果的ではないかと考えますので、今後は総合戦略につながる方法を検討する必要もあると思います。</p>
徳永会長	<p>今のお話からすると、役所の窓口だけで40件相談を受けられるのかという問題が見えてきたので、関連する部署等との関連性を深めていくことが必要になってきますね。</p>
大塚委員	<p>そうですね。そういった事から考えると、目標値の40件は決して難しい数字ではないと思います。</p>
徳永会長	<p>方向性は間違っていないが、数値を達成するためには関係部署との連携を強化する必要があるということ、評価に加えていただければ良いと思います。</p> <p>佐々木委員が担当されている事業の目標値についてはどうでしょうか。数値が少し高かったような気がします。</p>
佐々木委員	<p>KPIの数値目標については、推測ではありますが、基準年度が復興需要の関係で、石巻や沿岸部からの移住者増のピーク時であったのではないかと書かせていただきました。</p>
徳永会長	<p>震災関連で転入者が一時的に増えたためということで、実は深刻な状況であるという問題認識はあったはずですね。単年度の目標としている関係でその辺が見えづらくなっていることもあると思います。</p> <p>リフォームを先に行うという部分について若干気になりました。お金を出してリフォームしても借り手がなければ、投資を回収できないというリスクもあります。</p>
佐々木委員	<p>担当課にヒアリングしたところ、最初の制度設計ではリフォームが先になっていたのですが、徳永会長がおっしゃったようにリスクが伴うので、設計を変えたというお話がありました。最終的に実績がゼロであったことを考えると、見直すことも必要かと考えました。また、空き家バンクのホームページでも、手入れが行き届いていない中古物件の写真を見て首都圏の方が、それを借りるのか疑問がありました。</p>
高力委員	<p>全部先にリフォームするのではなく、モデルとして1、2件リフォームし、それをリノベーションのモデルハウスとして移住者を呼び込むことも考えられます。</p>
徳永会長	<p>リフォームに費用がどれだけかかり、それに対して補助がどれくらいあるのかという情報があれば、分かりやすくなるのではないのでしょうか。</p> <p>既にリフォームした物件はあるのですか。</p>
佐々木委員	<p>1件売れておりますが、その物件は平屋であり状態も良い物件でした。</p>
高力委員	<p>需要はいろいろありますので、本当に安い物件を希望する場合もあれば、畑などが</p>



	付いた物件を希望する方もいますので、首都圏から呼び込むという視点だけではなく、畑付きの物件であったり、きれいにリフォームした物件であったり、いくつかパターンを作ることも必要と考えます。
佐々木委員	そうですね、美里町は場所的にも電車で仙台から50分程度ですので、通勤圏であるということもありますので、そういった魅力性とモデルを作るといったことを書き加えたいと思います。
高力委員	確認ですが、これは5年間継続する事業と考えてよろしいですか。
事務局 (佐々木課長)	先行型交付金を活用した事業としては単年度になりますが、町の総合戦略としては5年間継続していきたいと考えております。
徳永会長	5年後のKPIとしてこの数値なのか、それとも設定していないのかお聞きしたいのですが。
事務局(小野課長補佐)	施策にぶら下がる事務事業という位置付けになります。美里町では事務事業レベルでのKPI設定はしておりませんが、この件については次年度以降取り組んでいくという方向ではあるのですが、現時点では、この数値は単年度で達成するKPIとして設定したのになります。
徳永会長	KPIの目標値を変更することがあるのだとすれば、今回の我々の意見というのは、それに向けて示唆するものであるということにするのであれば、5年後を見据えた数値にしてくださいといったコメントになると思います。
大塚委員	私が担当している事業では、相談件数がKPIとなっていますが、それ以外にもこの事業に適したKPIがあるといった指摘をさせていただいたり、基本目標についても、この目標で良いのか疑問に感じる点もありますので、そういったコメントを書き加えるということも可能でしょうか。
徳永会長	そうなってくると、次の議題である重点施策に絡んでくる話題になりますね。いろいろ御意見がありましたが、そのような視点で評価に加筆いただきたいと思います。スケジュール的にはどうなっていますか。
事務局(尾形係長)	今回の評価については、今月29日まで県へ報告することになっておりますので、できれば明日までに提出いただくと大変助かります。
徳永会長	それでは、それぞれ必要な加筆を行い、明日7月27日中に事務局へ提出することによってよろしいでしょうか。 【「はい。」の声あり】 次に中間答申(案)についてですが、先ほど事務局から説明がありましたとおり、地方創生先行型交付金活用事業の評価についての諮問に対して、当委員会として答申する必要があるとございます。お手元にございます答申書(案)の内容につきまして、御確認いただき、御意見があればお願いいたします。

	<p>それでは、答申（案）について御了承いただけますでしょうか。</p> <p>【「はい。」の声あり】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただ今御了承いただいた内容で答申することといたします。</p> <p>続きまして、2番「重点実施施策等の政策評価について」事務局説明をお願いします。</p>
事務局（尾形係長）	【「重点実施施策等の政策評価について」説明】
徳永会長	資料4で網掛けになっている施策はどういった施策ですか。
事務局（尾形係長）	こちらは重点実施施策になります。
徳永会長	我々としてはこの部分を見れば良いということですね。
事務局（尾形係長）	はい、そうです。
高力委員	資料4はどれに対応した資料になりますか。
事務局（小野課長補佐）	こちらは、前の総合計画に対応した施策一覧になります。今後評価いただく施策番号と同一ではございません。施策体系が大幅に変わっている訳ではないのですが、産業振興関連の施策につきましては、大きく見直しがされており、施策番号が違っており、大変見づらくなっています。
高力委員	単年度で見るのではなく、継続案件に関しては前年度を参考にするという意味ですよね。
事務局（小野課長補佐）	はい、そうです。
徳永会長	資料7については、このフォームに評価を書くというイメージですね。
事務局（小野課長補佐）	そうです。こちらのフォームにつきましても、データとしてお届けいたします。こちらのフォームには評価対象施策一覧の黒丸が付いている施策について評価を記入いただき、白丸の付いた施策はその関連施策として見ていただくということになります。
徳永会長	<p>資料2の黒丸の付いた施策について評価を書けば良いということですね。白丸の付いた施策は参考ということですね。</p> <p>評価する上で、詳しい説明を求める場合は担当課へ直接問い合わせてもいいし、事務局を通して問い合わせるということも可能ですよね。</p>
事務局（佐々木課）	個別会議の開催につきましては、各施策の担当課から御連絡させていただきます。その上で個別会議の日程を調整していただいたり、必要な資料について請求いた

長)	ければと考えております。
高力委員	8月9日以降に資料が揃うということでよろしいですか。
事務局(小野課長補佐)	はい。資料につきましては順次提供させていただきます。 ここで次回の全体会議の日程についても併せて確認をお願いしたいと思います。
事務局(尾形係長)	議事(3)次回の会議開催につきましては、先ほど課長が申し上げましたとおり、個別会議につきましては、担当課から皆様に御連絡いたしますので、日程調整していただき、それぞれ開催していただきたいと思います。 次に御確認いただきたいのが、全体会の開催日についてです。前回の会議でお渡ししておりますスケジュール(案)につきましては、仮日程として9月30日とさせていただいております。仮日程になっておりますので、日時、場所について御確認いただきたいと思います。
徳永会長	それでは次回は9月30日、時間は午前10時からということでよろしいですか。 【「はい。」の声あり】 それでは、次に(4)その他について事務局からありますか。
事務局(小野課長補佐)	前回の会議録についてお届けしておりますが、署名については全体会の会議録です。徳永会長の署名ということでよろしいでしょうか。 【「はい。」の声あり】 ありがとうございます。
徳永会長	長時間に渡り、大変お疲れ様でした。次回は9月30日の10時からということになりましたので、よろしく願いいたします。
事務局(佐々木課長)	長時間に渡り御協議いただきありがとうございました。 本日の会議の報酬、費用弁償につきましては、前回同様、宮城大学様の御厚意により、校内で開催させていただきましたので、費用弁償は発生しません。報酬につきましては、御指定いただいた口座に8月中に振込みさせていただきます。個別会議を開催されている場合につきましても、報酬等を8月中にお支払いいたします。 以上をもちまして、平成28年度第2回美里町政策推進・評価委員会を終了いたします。 大変ありがとうございました。

【午前10時7分】 閉会

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 年 月 日

会議録署名人 \_\_\_\_\_